

令和3年度 バルツァ・ゴードル事業報告

薬剤課

薬剤課の業務内容は以下の通りです。

1. 定期薬の調剤、監査、定期薬カートへのセット
2. 臨時薬の調剤、監査、払い出し
3. 処方箋疑義照会
4. 定期処方箋発行業務の医師の代行
5. 短期入所の薬の確認、セット
6. 外泊時持参薬の用意
7. 医薬品情報の収集
8. 医薬品管理（在庫の確認、発注、返品、期限の確認、病棟ストック薬の見直し）
9. 棚卸し
10. 在庫額の集計
11. 期限切れ薬品の集計、廃棄、インフォメーション
12. 感染サーベイランスの作成
13. 医療監査項目の整備
14. 医薬品業務手順更新
15. 外部研修会への参加（ウェブでの参加）
16. メーカーによる医薬品説明会の調整（現在はコロナ対策にてウェブにて情報収集）
17. 院内勉強会
18. 医薬品コストのインフォメーション

参加委員会は

感染対策委員会、褥瘡対策委員会、薬事委員会、NST、院内研修委員会等多岐にわたる。

最後に

常勤薬剤師1名での薬局業務であるが、非常勤薬剤師間との情報伝達を密に行いながら連携プレー、役割分担作業で大きなトラブルもなく一年間終える事が出来た。

2021年4月～2022年3月 処方箋枚数、剤数

	外 来			入院(臨時)		入院(定期)		入院(臨時)
	剤数	枚数	注射(枚)	剤数	枚数	剤数	枚数	注射(枚)
2021年 4月	29	17	0	199	179	2020	268	46
5月	33	26	0	209	176	2026	268	35
6月	40	20	0	201	147	2026	268	25
7月	53	29	0	152	127	2026	268	16
8月	63	26	0	156	135	2026	268	29
9月	47	34	0	128	111	2026	268	28
10月	29	17	0	142	119	2026	268	9
11月	53	26	0	93	84	2026	268	23
12月	47	30	0	175	145	2012	268	25
2022年 1月	20	12	0	122	108	1996	265	11
2月	32	21	0	149	124	1964	268	29
3月	49	23	0	127	117	1956	268	10
合計	495	281	0	1853	1572	24130	3213	286
AVE. (Month)	41	23	0	154	131	2011	268	24
AVE. (Day)	2.0	1.1	0.0	7.4	6.3	96.5	12.9	1.1

栄養課

ご利用者様への食事提供については、昨年度に引き続き大きな事故も無く、無事に終えることができた。厨房においては、委託会社の人員体制にやや問題があったものの全体的な運営としては安定かつ衛生的に運営できたと考える。

施設側においては、常勤管理栄養士1名の体制で業務を行ってきた。献立や発注業務など日々の業務内容を精査しながら、大きな混乱なく遂行できたのではないかと考える。

<反省・評価>

新型コロナウイルスによる影響から、2020年度は受け入れを中止したが、2021年度については、学校側と協議をし、リモートによる臨地実習に切り替えた。その際には、各課スタッフや医師に協力を得ながら、実習を無事終了することができた。また、リモート実習後、新型コロナウイルス感染状況をみながら、半日ではあるがリモート実習に参加した学生を対象に施設内見学を実施した。2022年度についても、感染状況をみながら臨地実習の受け入れを検討していきたい。

食事形態等に対する課題については達成できていないが、引き続き訓練課（特に言語聴覚士）や病棟看護師等からの意見を集約しながら、見直しは行っていきたい。現行、食事量の調整等には栄養補助食品を組み合わせることにより、栄養状態を維持できるように配慮した。

栄養評価及びNSTの運営については、継続して実施できているが、ご利用者様においても年齢のともなく様々な変容がみられるため、今後もそれぞれの課題を見つけ検討を重ねていきたい。

栄養課の体制として常勤栄養士1名体制での業務を行っている。計画的な業務管理できている。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり外部との様々な取り組みに着手できていないのが現実であることから、2022年度についてはコロナ禍でもできることを探り実施に結びつけたいと考えている。

給食管理において、委託会社とも連携を密に安全・安心な食事提供を継続していくことが課題となる。

<2022年度（令和4年度）の目標・課題>

- ・食事形態等における課題解決に向けた取り組みの継続
- ・安心・安全な食事の提供
- ・

栄養（再）評価及びNST運営の継続 等

給食委員会

委員会メンバー：医師・看護師長・療育主任・言語聴覚士・調理師または栄養士・管理栄養士

内容： 利用者の『食』に付随する事を、それぞれの専門知識を有する病棟スタッフと協議する委員会。

毎月1回実施。栄養課と病棟スタッフや他の専門職との意志疎通や連携を図る重要な機会である。

参加メンバーが各病棟の管理職が担うことにより、スムーズな話し合いを行うことができています。

【2021年度的主要な取り組み】

- ・食事関連のヒヤリハット事例の報告
- ・配膳時間など病棟と厨房との業務調整
- ・食事評価の報告の場
- ・病棟お誕生日会日程の調整及びケーキの準備
- ・感染症発症時の食事対応の確認

・行事食の報告及び提案

【2021年度まとめ】

前年に引き続き、管理職を交えた委員会構成で毎月開催することができた。味見食や聞取りによる嗜好調査をとおり、日常的に食事に対する意見をとりまとめることにより、きめ細かい対応ができたと考える。参加している各課管理職の協力もあり、日々の給食提供や行事等の対応もスムーズに行うことができた。

厨房委託業者には毎回参加してもらうことにより、お互いの信頼関係を築くと共に、積極的な意見交換が出来たと感じる。次年度も引き続き、積極的な意見交換を行いより良い給食の提供に努めたい。

【次年度予定】

次年度も引き続き同じ形式で運営される。

2021年度 行事及び時節献立一覧表

開催月	日付	項目	主な内容
4月	複数日	春メニュー	菜の花のクリームスパゲティ、豆ごはん
5月	5月5日	こどもの日	鯉のぼりケーキ、こどもの日メニュー(ハンバーグ他)
6月	複数日	夏メニュー	冷やし中華、夏野菜カレー
7月	7月7日	七夕	七夕そうめん、蒸しシウマイ、フルーツ、七夕ゼリー
	7月18日	夏フェスメニュー	手作りパフェ(ゼリー、生クリーム、カステラ他)
	7月28日	土用の丑の日	うな玉、キュウリの酢の物、すまし汁
8月	複数日	夏メニュー	夏野菜料理
9月	複数日	秋メニュー	サンマの照り焼き、さつま芋ご飯、
10月	10月27日	秋祭り	さつまいもプリン
	複数日	秋メニュー	
11月	複数日	秋メニュー	きのかカレー、茶碗蒸し、秋野菜料理
12月	12月19日	クリスマス会	チョコムースケーキ
	12月25日	クリスマス	煮込みハンバーグ、マカロニグラタン、コンソメスープ
	12月31日	大晦日	年越しそば、かき揚げ
	複数日	冬メニュー	白菜と鶏肉の寄せ鍋風煮、冬野菜料理
1月	1月1日	お正月	赤飯、おせち、祝肴、雑煮、栗のムース黒豆ソース添え
	1月7日	七草	七草入りうどん
	複数日	冬メニュー	寄せ鍋風煮、冬野菜料理
2月	2月3日	節分	恵方巻き、イワシのつみれあんかけ、すまし汁、イチゴ
3月	3月3日	ひな祭り	春の散らし寿司、冬瓜の炊き合わせ、すまし汁、3色ミルクプリン
	複数日	春メニュー	春野菜料理

※ 毎月誕生日会に手作りケーキ、注入者へはジュース提供

院内約束食事箋及び行事食写真

一般食		
食種	熱量 kcal	
常食	A	1500
	B	2000
全粥食	1380	
ペースト食	1190	
流動食	770	
低カロリー食	1200	
特別治療食		
食種	熱量 kcal	
腎臓異常食	1400	
低脂肪食	1572	



訓練課

訓練課

常勤セラピスト各々がオンラインにて、各専門分野の自己研鑽をすることができた。また、利用者についての情報共有を行うことができた。

新型コロナウイルス対策としては、訓練室の温度・湿度管理や、訓練時に使用する物品を共用しない事、訓練室の清掃・消毒、物品の洗濯などを行った。感染対策により病棟で訓練を行う事で、病棟での利用者の様子や装具の使用状況を直接確認する事が出来るようになり、病棟スタッフからの相談も増えた。感染対策の中、1階班・2階班に分かれての動きを2年間継続している。訓練課、病棟スタッフともに、この動きに慣れ、対応ができるようになってきている。今後も、他職種との連絡をこまめに行い情報収集に努めるよう気を付けたい。

また、訓練課全体の自己研鑽の機会としては、オンライン開催となった全国重症心身障害児者施設職員研修会に幹事園として参加し、様々な感染対策やセラピーの情報を収集出来た。

PT

今年度は7月末にPT1名が退職となり、12月に非常勤PT1名の入職があった。また非常勤の下浦PTの体調不良により、10月より前田が外来を引き継いでいる。

PTの個別訓練では、利用者1人ずつの運動・姿勢面での問題点の把握や性格的特性、生活リズムの理解を行い、その上で治療プログラムを計画し、実行している。訓練内容としては、脊柱側彎や関節の変形・拘縮の進行防止・改善、呼吸機能や現在の移動能力の維持・改善を目的に、関節可動域訓練、ボイタ法、上田法、呼吸リハビリテーション、筋力増強、マッサージ、動作訓練を行っている。夏季のプール活動は、常勤PT骨折により、入水は出来なかったが、運営計画には協力する事が出来た。

PTの新型コロナウイルス対策としては、引き続きPT室の温度・湿度管理や、訓練時に使用する物品を共用しない事、PT室の清掃・消毒、物品の洗濯などを行った。

病棟では、整形の澤井医師からの要請もあり、病棟スタッフや保護者の協力により、利用者のポジショニングの見直しや検討を行う事が出来た。

整形関連業務では、装具関連業者の訪問に引き続き立ち会っている。利用者が使用する座位保持装置や装具の不具合の際には、すぐに各担当と相談している。病棟からの相談も増加した。座位保持装置の仮合せの際には、クッションや座面、テーブルの評価もOTと協力して行えた。児童の場合は、学校にも協力をお願いし、授業での試用をお願いした。また各種装具に関しても、常に澤井医師や病棟スタッフと相談し、保護者とも連絡を取りながら、利用者に最適な装具の検討を行う事が出来たと考えている。またオンライン設備の充実により、写真や動画で、ポジショニングや座位保持装置の状態を保護者に確認して頂く事も可能となった。また体調不良などで他院に転院された利用者には、帰園後の全身評価を行い、多職種とのカンファレンスの機会を持ち、食事姿勢や離床時間、装具装着時間、褥瘡の除圧など、その後の病棟での生活に活かす事が出来たと感じている。

院内研修では職員の腰痛予防研修の2回目を行った。

またOTと合同で行っている例検討会は、月1回に頻度は減少したが、継続して行えている。非常勤の下浦PTの指導の元、ボイタ法のみではなく、ボバース法、徒手療法や上田法など、幅広い手技の指導をして頂くとともに、利用者様のより良い評価・問題点抽出・治療方法が明確になり、日常の業務に活かされている。

OT

利用者への理解を深めるために、OT内で症例の検討を行うことができた。引き続き、利用者への理解を深め

ていきたい。

クッキングなどのグループ訓練は、新型コロナウイルスの影響により、実施できなかった。また、園芸は、個別訓練として実施し、イチゴやヒマワリやチューリップなどを植える作業を各利用者が持つ能力や特性を活かして行うことができた。個別訓練では、訓練として取り組むアート活動において、完成した作品を作品展へ応募した。常勤OTが2名から1名に減ったことから作品展への出展数は減少したが、作品展での採用数は増加した。

夏季にはPTと協力して、感染対策を行いながら、プールでの個別水中運動療法を行う事ができた。

また、PTと合同で行っている月1回の症例検討会は、一時中断もあったが、1階と2階の2班に分かれて、継続して行うことができている。

ST

12月より、非常勤PTSTが増え、一緒に介入する事で、これまで行ってきた利用者を見る視点や、介入の仕方・内容について今一度考え直す機会となった。

これまで行ってきたことの確認が出来た部分や、足りていなかった部分、気づけていなかった部分に気づくことができたことで、少しずつではあるが訓練内容に反映していくことで、利用者への関わりの充実に繋がっている。

また、病棟とのやりとりのなかで、より利用者個々の問題点が明確になりつつあり、来年度はその一つ一つに取り組んでいきたいと考えている。

地域支援

医療型短期入所

昨年度に引き続き、利用に際しての制限を設定した上で、受け入れを行った。

床数はコロナウイルス感染対策の為、個室対応となる事から2020年度から引き続き2床での運用を行っている。

令和3年度年間の予約日数は516日、利用日数実績は436日であり、2床想定での稼働率としては約60%となっている。

キャンセルの内訳としては、コロナウイルス感染症対策による病棟隔離で利用を中止した数が57日、本人・家族の体調不良や予定変更によるキャンセルが23日と予定と実績の大きな乖離が見られる。

当園の感染状況が利用に際して大きな影響となる一方、利用前での入院や体調不良でキャンセルとなるなど、利用者の中には体調の崩しやすい方も多くおられ、予定通りに実績を積み上げられないのも医療型短期入所の特徴と感ずる。

新規利用についての相談は多く見られた。しか

しコロナ禍という事もあってか、登録のみで、継続しての利用には至っていないのが現状である。

今後制限の緩和が行われると共に、利用の促進となるよう、利用案内などを積極的に行っていく事が課題となると感じている。

特定計画相談支援事業

昨年度利用者が3件増、1件減であった。

新規利用内訳としては新規入所利用者を他事業所より引き継いだ方1件、医療型障害児入所利用から療養介護への利用切り替えとなる方1件、他療養介護事業所利用の方1件となる。

契約解除はご本人お亡くなりでの1件であった。

一年間の実績としては計画作成、継続支援合わせて68件となる。

他事業所との連携を求められる場面もあり、利用者のニーズとサービス量の調整、ヘルパー派遣事業所の調整など、今後の活動につながる関係性を作る事ができた。

また、奈良市自立支援協議会事例検討会や相談支援部会への参加を行い、他事業所が抱える困難ケースの共有や個別のニーズに対してのアドバイスなどを求める事ができた。

地域相談

入退所の支援については新規入所となる方が3名（内措置児童1名）。

以前より短期入所利用をされ待機登録をしていた方が2名、家庭での養育困難による児童の措置による入所の方が1名であった。

入所利用希望の相談としては、もともと身体障害者施設で入所されていて、医療ケアが増えたため、戻る先が無く待機登録される方、NICUから状態が安定してきた子どもの相談など多くあり、医療型児童入所施設・療養介護施設に対してのニーズは一層強まっていると感じる。

防災訓練

防災訓練実施報告

2021年度	回数	参加人数	実施日
避難訓練	11	178	4/1.5/18.6/15.7/20.8/17.9/21.10/19.11/16.12/21.1/18.
通報訓練	10	162	4/1.5/18.6/15.7/20.9/21.10/2.11/16.12/21.1/18.
消火訓練	10	160	4/1.5/18.6/15.7/20.9/21.10/19.11/16.12/21.1/18.
防災訓練	3	146	5/18.9/1.10/2
水害訓練	3	45	6/15.7/20.8/17
防犯訓練	0	0	

○2021年5月18日11:45~13:45 全館停電（調査） 停電体験訓練（防災）

○2021年4月27日 防犯設備点検

○2021年5月31日 消防設備点検 消火器2本交換

○2021年11月11日消防設備点検

訓練状況 : 新型コロナウイルス感染予防で病棟分離している為、全体訓練は各課に分かれての机上訓練になった。アクションカード作成を目指した。

実施日	内容	人数	種別
2021.4.1	新入職員対象消防設備、避難経路オリエンテーション	5	消火・通報・避難
2021.5.18	全館停電調査時に停電体験アンケート・消防設備点検	25	防災・消・通・避
2021.6.15	垂直避難見直し・消防設備・避難経路点検	13	水害・消火・通報・避難
2021.7.14	自然災害に対する業務継続計画BCP研修（リモート）	40	防災・BCP
2021.7.20	垂直避難部屋割り・ベッド配置図作成・モニターの移動方法・消防設備・避難経路	16	水害・消火・通報・避難
2021.8.17	モニター移動マニュアル・配線整理・垂直避難役割割カード	16	水害・避難
2021.9.1	トヨクモ安否サービス一斉送信	66	防災
2021.9.21	通報・初期消火・避難誘導等のアクションカード作成 実際に使用してみる	16	消火・通報・避難
2021.10.2	11:00~13:00 佐保短大で地域防災訓練に参加	2	防災・避難・避難所生活
2021.10.19	水平避難について学ぶ	13	消火・通報・避難
2021.11.16	全体訓練（日勤帯で厨房から火災）	20	消火・通報・避難
2021.12.21	全体訓練 アクションカード見直し更新。煙対応学ぶ	13	消火・通報・避難
2022.1.18	各課でアクションカードを使用し、机上で早期5時想定で消火・通報・避難準備・避難誘導する。	13	消火・通報・避難
2022.2.16予定	アクションカード更新・2021年度実施表・2022年度計画表を検討する	13	消火・通報・避難
2022.3.16予定	2022年度の計画書点検確認	13	防災・消・通・避

284

2020/8/より トヨクモ安否サービス登録 以下安否サービスより通信

防災:

2021.5.1 10:27 地震 震源地:宮城県沖 震度5強

2021.9.1 トヨクモ安否サービス一斉送信

2021.12.24 積雪時の対応

寄付・助成金等

事業名	名称	金額	適用
ボランティア活動支援事業	政策医療振興財団	80,000 円	ポータブル電池
寄付金	岡谷会医療・介護福祉労働ヘルプ ST 分会	30,000 円	感染用医療材料
寄付金	家族会	150,000 円	活動用品
イオンギフトカード	イオンイエローレシート	88,300 円	活動備品
医療提供体制確保支援補助金	奈良県	4,650,000 円	紙カルテ電子化等
施設整備費補助	奈良県	1,817,000 円	簡易陰圧装置
感染拡大防止継続支援助成金	厚労省	100,000 円	感染用医療材料
オンライン資格確認導入助成金	厚労省	2,099,900 円	オンライン資格ソフトウェア
緊急包括支援事業助成金	奈良県	1,947,000 円	IDNOW 遺伝子分析装置